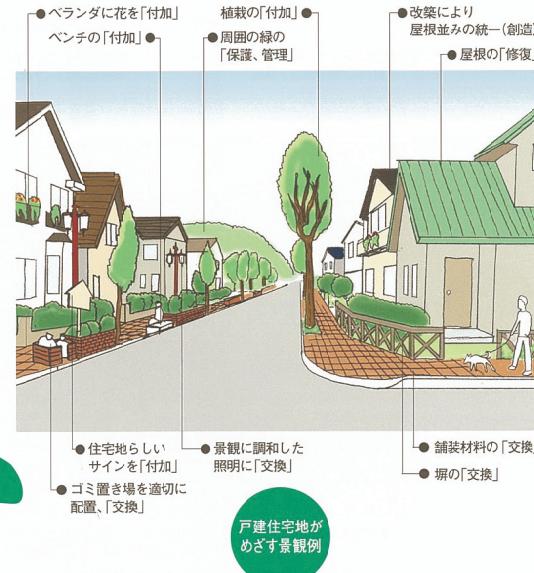


住宅地は連続して街路樹を植えたり、屋根のかたちや外壁の色のトーンをそろえるだけで、すいぶん統一感のある家並みになります。また、それぞれの家や集合住宅においても庭木や花を育てたり、灯油タンクやガス庫などを隠したり、またゴミステーションの工夫やマナーをしっかり守ることで、うるおいのある住宅地の景観をつくることができるのではないかでしょうか。

住

17



●屋根並みをそろえることで、統一感や連続性がうまれ、背後の山並みと調和した住宅地景観になります。



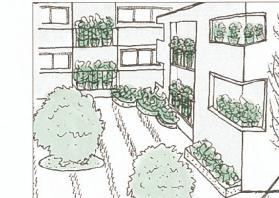
●周辺の緑を保全することで、自然との調和がはかれます。



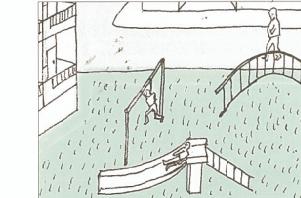
●外壁の色の明るさを抑えることで自然の景観になじみます。また、色のトーンをそろえることで、統一感やリズム感のある家並みになります。



●緑を守り育てるで、うるおいのある集合住宅地の景観がうまれます。



●オープンスペースやベランダなどに花を飾ると、暮らしを演出できます。



●子どもが遊ぶ場所、歩行者空間をつくることで、ゆとりある景観がうまれます。

苦小牧の
都市景観の
問題と課題

3

みんなが活気のある生活を営める
都市空間の創造が必要です。

市民の社会活動について、歴史、自然体験、住民活動の舞台づくりや市民の表現活動が重層する、親近感のある都市空間づくりが必要です。また高齢者にやさしく、災害に強い都市空間として都市景観を形成する必要があります。



サイクリングを楽しむ市民



ふれあいフェスティバルのようす

不燃化した住宅地

既成市街地では、住環境の向上や土地の高度利用、純化、建物の不燃化、耐震化に資するよう住宅建設と住宅地景観の形成に努めます。

秩序ある住宅地

新市街地では、道路、公園と緑、オープンスペースの計画的な確保、住宅の秩序ある建設、適切な土地建物等の保全に努めます。

まちづくりのルール

地区計画、建築協定、緑地協定などの活用や住民の協議により、住宅地景観の形成に努めます。

不燃化した住宅地

住宅地らしさ

土地利用計画、土地利用規制に対応し、住宅らしい外観とサイン、看板等により、わかりやすい住宅地景観の形成に努めます。

公共施設の整備

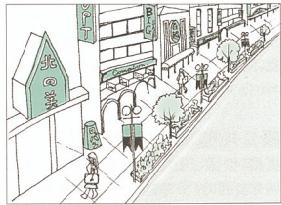
道路、公園、河川、下水道などの公共空間を計画的に、一体的に形成し、高齢者や障害者などにもやさしく、災害に強い住宅地景観の形成に努めます。

モ

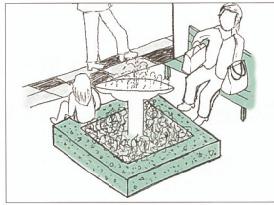
18



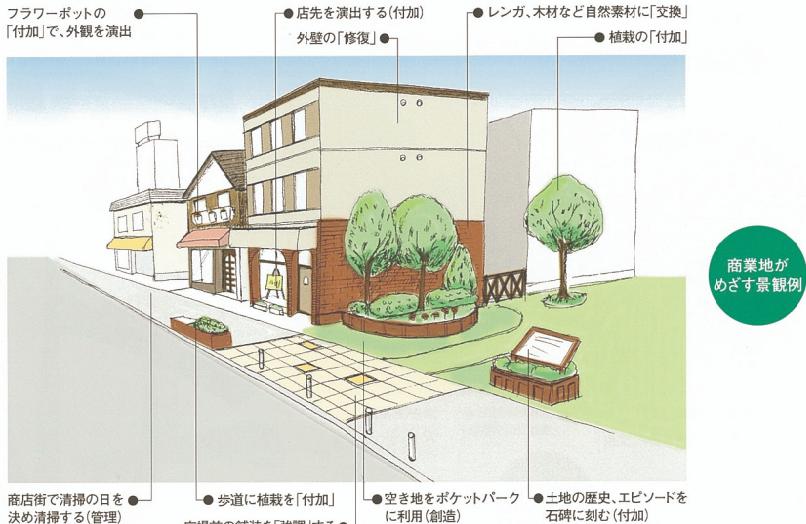
●建物の高さや屋根並み、外壁の色のトーンをそろえると、商店街の統一感が得られ、景観を表現することができます。



●看板、屋外広告は、デザインや配置を工夫することで、にぎわいを演出し、秩序ある街並みにすることができます。



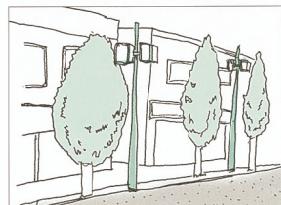
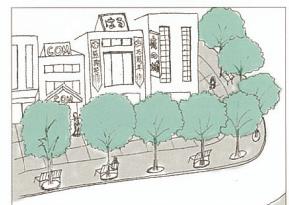
●ポケットパークにベンチを整備することで、買い物に来た市民の休息の場となり、そこに交流が生まれます。



●緑を育てることで街にうるおいが生まれ、木陰で休むことができ、街並みにも連続性が生まれます。

●街並みに配慮した照明を設置することで、より商店街の個性が演出され、夜の景観演出にもなります。

●街路樹にイルミネーションを飾ることによって、雪景色に映え、季節の変化を感じさせる演出ができます。



苦小牧の
都市景観の
問題と課題

4

中心市街地が活気に欠け、
建物や壁の殺風景な地区がある。

商店街はただ買い物をする場というだけではなく、市民同士はもちろん、市民と地方から苦小牧を訪れる人々が交流する場でもあります。その都市の顔である場所には、どんな演出や配慮が必要でしょうか。一体感のある商業空間、シンボルとなる広場やストリートづくり、緑や水の演出、雪と調和する冬の街並みづくりなど、私たちは四季をつうじて市民みんなが心地よく憩える場として「街」を考えていきたいと思います。

■一的な商業空間整備
地区特性に応じて建物、施設、植栽、ファニチャー、商店街活動のテーマなどをきめ、商業地景観の一的な形成に努めます。また不燃化や耐震化の推進、屋外広告物などの規制誘導に努めます。

■シンボル広場
利用者、住民、旅行者がつどい交流するための広場づくりやシンボルとなる空間づくりに努めます。

街

ショッピングだけでなく市民が憩う街がいいな。

地区景観の形成方針②<商業地>

■シンボル道路

地区的骨格となる道路については、歩行者の安全や快適性を高め、商業機能を強化するためシンボル的な歩行者空間づくりに努めます。

■冬でも快適な商業空間

雨天、降雪時や夜間、冬期間でも安全に利用できるような全天候型、通年型の施設、駐車場や歩行者空間づくりに努めます。

■緑、水による演出効果

大規模な施設や広場をうるおいや愛着のあるものとするため、緑、水、光、音など多様な演出効果の導入に努めます。

■自主的な管理、美化

生活ゴミの収集、落ち葉や歩道の清掃、冬期の除排雪、イベント時のイルミネーション、広告物などの出し入れや美化スペース、サービス動線の確保などについては、商業者、居住者がその立場に応じて自主的な管理に努めます。

■自発的な景観形成

地区計画、建築協定、緑地協定や総合設計制度などの活用により、関係者の自発的な商業地景観の形成に努めます。



中心市街地のようす

市民アンケート調査では、苦小牧市の歴史的な旧市街地について、美的景観にかける、さびしい、美化をそこなうような古い建物があるとの指摘がありました。また、市街地周辺に空き地が目立ち道路も暗いなどの理由から殺風景な印象をあたえがちです。

私たちが暮らす苫小牧は北海道の製造品出荷額の約10%を生産する工業都市であり、工業地や工場がたくさんあります。周辺の住宅地やまわりの自然環境と調和した、市民に親しまれる景観づくりが望されます。たとえば緑の植栽をふやしたり、看板やサインのデザインを工夫したり、建物をふくめた外観の周辺景観との調和に配慮していくことで美しい工業都市として誇れる都市景観をめざしていきます。



まちをささえる工業地だからこそ、人にやさしい景観づくりが大切なんだね。

地区景観の形成方針③<工業地>

21

■阻害要因の排除

周辺住宅地や自然地域と接する地区では緩衝空間の確保と緑化をはかり、合わせて工業施設や建物の修景やデザインへの配慮により、工業地や工場が景観への阻害要因とならないよう配慮した工業地景観の形成に努めます。

■自然との調和

緑、水、空や地形、生態との調和をめざし、地区計画、建築協定、緑地協定などの活用により、長期的に安定した工業地景観の形成に努めます。



苫小牧の
都市景観の
問題と課題

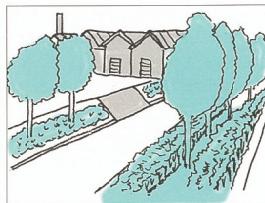
苫小牧の歴史や史跡、先人の足跡がわかる
都市景観であることが大切です。

■緑化、修景

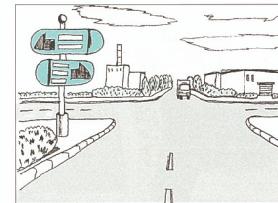
計画的に道路、公園緑地を整備するとともに、各々の工場敷地内では適切なオープンスペースの確保と植栽による緑化により、緑あふれる工業地景観の形成に努めます。

■主要導入部の景観的配慮

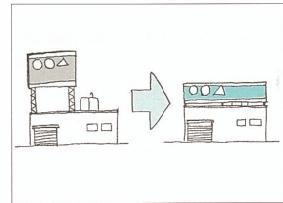
大型車輌や危険物等をあつかう車輌の導入部については、道路、歩道、交差点の整備や適切なサイン、案内板の表示により、工業地景観の形成に努めます。



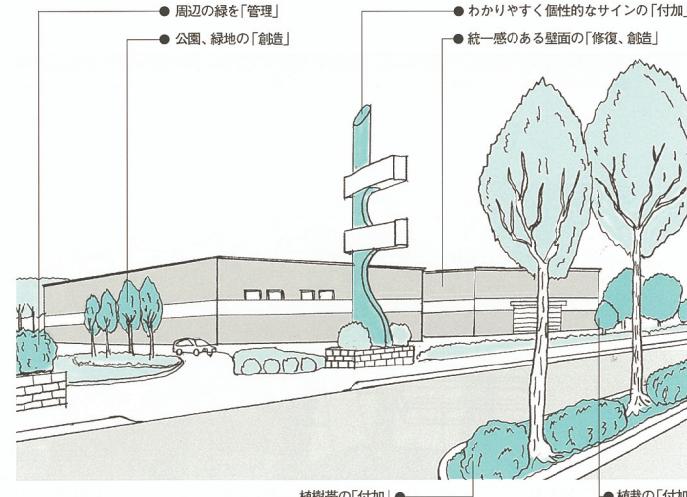
●街路を緑化することにより、うるおいある工業地景観になります。



●適切なサイン、案内板を表示すると、運転者にわかりやすい工業地景観になります。

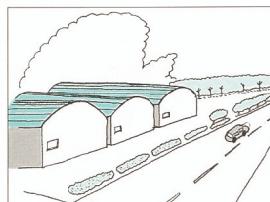


●景観の阻害要因となる広告物、工作物、電柱電線は、事業者が自主的に規制することで、秩序ある景観が生まれます。



22

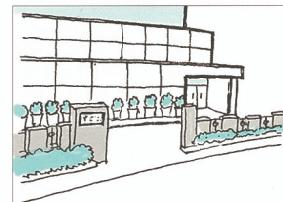
●工場の建物の屋根並み、壁面線をそろえることで、統一感のある工場街の景観となります。



●工場の大面積の壁面の色を工夫したり植樹で部分を隠すと、遠くからの眺めに配慮した景観になります。



●人が頻繁に出入りする事業所周辺や市街地付近の建物の高さを低くし、植栽などを施すことにより、周囲に圧迫感を与えない景観となります。



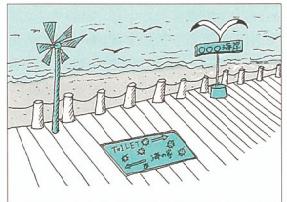
苫小牧の歴史を伝える遺跡や、旧市街地の史跡について、発掘、評価、保全活用をはかる必要があります。先人の活動、歴史的地区について、息づいている都市空間として評価し、都市景観をつくる必要があります。



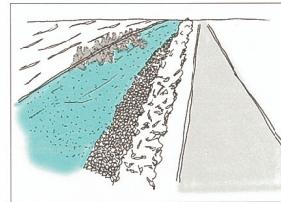
歴史的な建物の再利用



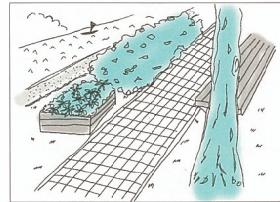
先人の足跡を伝える史跡



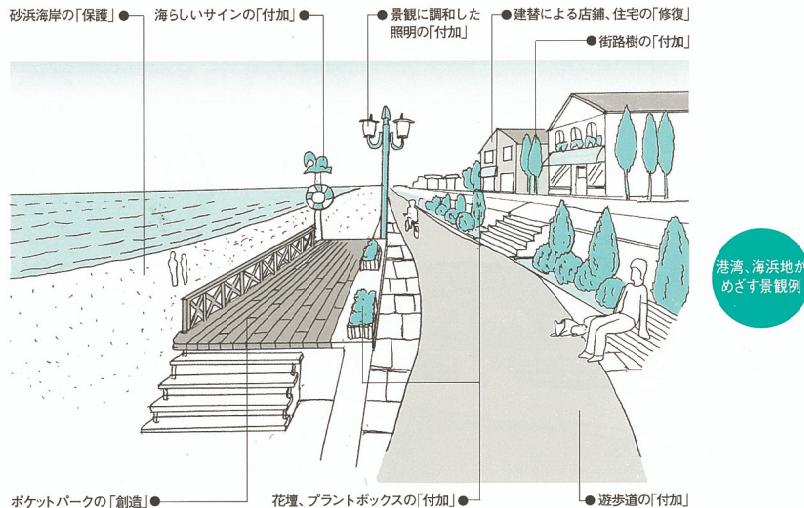
●海辺らしいサイン、案内板を設置することで、海浜地空間が演出されます。



●安全を確保したうえで、護岸の工作物(テトラポットなど)を撤去すると、砂浜海岸が復活します。

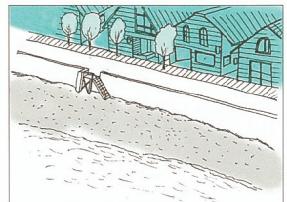


●花壇、街路樹を配置すると、うるおいのある、歩いて楽しい歩道空間が生まれます。



23

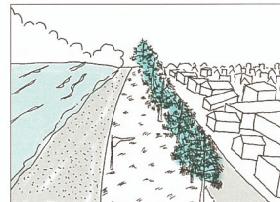
●海に面した建物(店舗、住宅など)をつくると、海を意識した空間になります。



●潮風で痛みやすいトタン屋根の塗り替えなど修復すると、きれいな景観になります。



●海岸近くに街路樹を植えると、防風林の役割が生まれます。



東西に長いまちの南側すべてが太平洋という苦小牧にとって、海は切っても切りはなせない存在です。しかし、市民生活にむすびつく海浜の活用や景観づくりは、あまり進んでいないのが現状といえるでしょう。フェリー、波止場、潮風…。そんな情景とともにレクリエーションの場としての海浜づくりを積極的に行い、海に隣接したまちの魅力を景観に取り込んでいくことで、魅力的な港まち苦小牧の景観が生まれるかもしれません。

■海を体感する景観
海、港、フェリーや潮風、汽笛、海鳥など、港を感じさせる場となるよう市民に親しまれる港湾、海浜地景観の形成に努めます。



海辺のまちにふさわしい、素敵な風景をみつけたいな。

地区景観の形成方針①<港湾、海浜地>

24

■水辺のネットワーク

太平洋の水際を基軸に生活道路、河川、港湾、マリーナ、親水公園などを数珠状にむすぶ多様な観光レクリエーション空間のネットワークとなるよう港湾、海浜地景観の形成に努めます。

■港を意識させる景観
港を意識させる建物、広場、サイン、案内板を港湾から幹線道路までの結節部に配置し、広域広場に対しわかりやすい港湾、海浜地景観の形成に努めます。



背景の緑の印象が弱い景観

苦小牧の
都市景観の
問題と課題

6

まち中の身近な景観が目立ち、
人工的な都市的印象が強い。

工業都市として発展をつづけてきた苫小牧の緑の景観は、樽前山麓の豊かな自然と比べて極端に市街地部分の緑が少ないという印象がありました。近年たくさんの植樹が行われていますが、将来へむけてさらに多くの緑を育していく必要があります。そこでは公共はもちろん、市民ひとりひとりの緑を大切にする気持ちが大切となります。また公園緑地づくりに関しては、実際に利用される地域のみなさんの意見を聞いて実際の公園づくりに反映させていくことも大切となるでしょう。



木々の匂い、緑の風を肌で感じられる公園がふえてほしいな。

地区景観の形成方針⑤<公園緑地>

25

■眺望拠点の整備

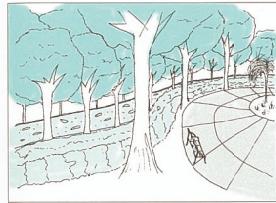
自然地域のなかの大規模な公園緑地は、周辺の山並みや水辺を眺望できるオープンスペースであり、地区特性に応じ、周囲の自然景観とも調和した公園緑地景観の形成に努めます。

■生態環境の整備

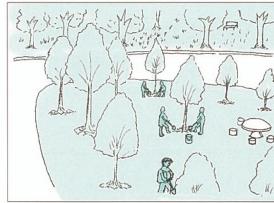
海辺、山麓、拠点景観地区などをネットワークするなかに公園緑地を系統的に組み込み、災害時の避難地、市街地内の生態系の緑の島、緑の回廊となるよう公園緑地景観の形成に努めます。

■体験できる景観

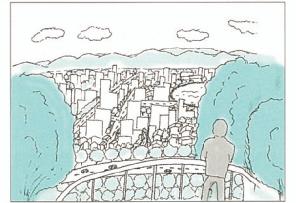
市街地の公園緑地は、市民が直接緑と水を眺望し、日常生活のなかで土、水、緑、外気、生態を体験体感できる空間であり、その地区特性や地域の実情に応じた公園緑地景観の形成に努めます。



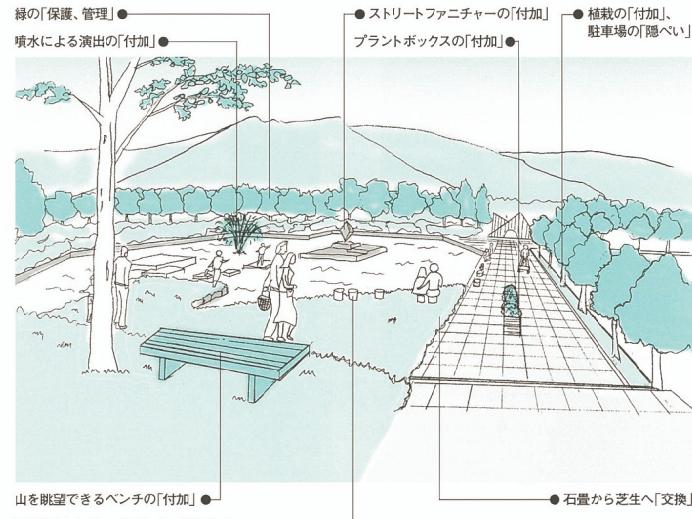
●緑を保全することで、うるおいのある景観になります。



●公園の緑化には公共はもちろん、市民の緑を大切にする心が求められます。

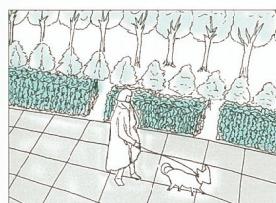


●展望台、休憩所を設けることで、公園内の眺望点になります。

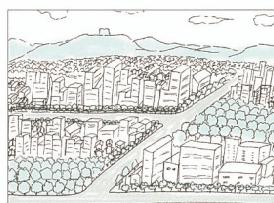


●公園緑地がめざす景観例

●公園緑地の外周の歩道を緑化することで、緑豊かでうるおいのある景観になります。



●計画的に公園、緑地を配置することで、樽前山麓から市街地までの緑のネットワークが生まれます。



●水、土、緑を保全すると、生態的環境が保護されます。



地形、緑、水、気象、生態など多様な自然資源を活用し、遠景域の借景として意識する必要があります。水、土、気候、生態系を体感、体験し、自然の豊かさに接することのできる都市空間を形成する必要があります。



白鳥と親しむ子どもたち



水辺で遊びをする子どもたち

苫小牧の
都市景観の
問題と課題

7

自然の豊かさに接することのできる
景観づくりが必要です。

26